

環境省認定検定



本検定は環境省
「人材認定等事業」に
登録されております。

第17回 産業廃棄物 適正管理能力検定



会場型

検定
応用編

試験日

2023年7月9日(日)

検定試験 13:30 開始
応用編 16:00 開始

申込期間

2023年2月1日(水)～2023年6月8日(木)

開催地

札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・岡山・福岡

オンライン

入門編

申込期間

2023年3月1日(水)～

受講開始

2023年4月3日(月)～

環境貢献企業の実務と教育を支える。



一般社団法人企業環境リスク解決機構
Corporate Environmental Risk Solution Institution

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

本検定は、産業廃棄物の適正な処理の推進を通じて持続可能な開発目標(SDGs)における「12 つくる責任 つかう責任」に貢献することを目指しています。

12 つくる責任
つかう責任





環境省認定検定

産業廃棄物適正管理能力検定

～ 産業廃棄物担当者が身につけるべき統一の知識基準 ～

産業廃棄物適正管理能力検定とは

建設業、製造業、流通小売業など、産業廃棄物を排出する企業の担当者を対象に、産廃を管理する上での必須の知識を問う当機構独自の検定試験です。

受験のきっかけ



- 部下の産廃知識が正しいか確かめたい
- 社内教育の一環として取り入れたい
- 新しく産廃／ISOの担当者になって不安

受験者の声より

分野ごとの採点結果からニガテ分野がわかり
レベルアップできました



20代 小売業社員

実際に受けてみて、
会社で受験必須だったことに
納得がいきました

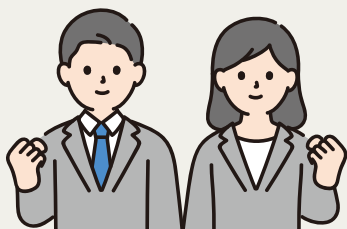


30代 建設業社員

法令などの必須知識だけでなく
時事問題も取り上げられており、
実務者向けだと感じました



50代 製造業役員



産業廃棄物に係わる方全員に
受けていただきたい検定です

検定を活用し、リスクを防ぐ廃棄物管理体制を

検定概要



産業廃棄物適正管理能力検定
応用編 建設系コース



産業廃棄物適正管理能力検定
応用編 事業系コース

対象者 産廃管理の統括部門／産廃について指導する立場

建設系・事業系の2コースで高度な専門性を問う難関の検定

専門的な知識や、高度な判断が求められる担当者の方に。建設系・事業系の2つのコースから選択し、より自社の実務に直結する力量を測定できます。可否を左右する論述式問題など、「正しい知識」に加え「判断力・伝達力」が問われる、実践的な内容の検定試験です。

出題範囲	共通	廃棄物処理法、関係法令に関する高度な知識
	建設系コース	石綿（アスベスト）や建設リサイクル法の知識
	事業系コース	製造系企業等で必要とされる産廃知識

受験対策 応用編事前対策セミナー

合格基準 **35点以上** 合格率 **27%**
50点満点中 (第16回まで)
※検定試験に合格していること
(同時受験可)

資格登録 産業廃棄物適正処理管理士
1級



産業廃棄物適正管理能力検定試験

対象者 産廃管理に携わるすべての担当者

あらゆる産廃担当者にとって必要な知識を問う決定版

許可・契約書・マニフェストなど委託時の基準を中心に、産業廃棄物の排出事業者の担当者として必須の知識を網羅した、最もスタンダードな検定試験です。産廃担当者の能力基準として広くご活用いただいております。公式テキストを用いた学習で体系的な知識習得にも効果的です。

出題範囲	産廃管理に必要な知識全般	許可・契約・マニフェスト
	廃棄物のリスクと罰則	運搬・保管等処理のルール
	廃棄物の区分と定義	関係法令の概要・時事問題(各種リサイクル法など)

受験対策

- 事前対策セミナー
- 【通信教育】産業廃棄物適正管理能力検定合格講座
- 公式テキスト・問題集

合格基準 **70点以上** 合格率 **56%**
100点満点中 (第16回まで)

資格登録 産業廃棄物適正処理管理士
2級



産業廃棄物適正管理能力検定 入門編 オンライン

対象者 新入社員／新任担当者／マニフェスト等事務作業／現場の分別担当者など

動画講座付きで社内教育としても最適なオンライン検定

約3時間の動画講座と確認テストで、産廃の基礎的な知識をやさしく学べるオンライン検定です。いつでも、どこでも、何度でも受講可能なe-ラーニング形式。受験者全員に豊富な図解がわかりやすい「産廃がわかるハンドブック」を送付しますので、初めて産廃を学ぶ方でも安心して学習できます。

出題範囲	基礎的な産廃知識	許可・契約・マニフェスト
	廃棄物のリスクと罰則	産廃用語の理解

学習パート 動画講座＋ハンドブック付き！



合格基準 **24点以上** 合格率 **88%**
30点満点中 (第16回まで)

資格登録 産業廃棄物適正処理管理士
3級



おすすめ受験対策

応用編 事前対策セミナー オンライン

難関の応用編対策に特化。テキスト外からの出題の対策に加え、可否の鍵を握る記述式問題の添削サービス付き。e-ラーニング形式で、どこでも、何度でも視聴可能です。

公式テキスト付属
両セミナー共通



セミナー詳細は
webサイト・チラシにて

事前対策セミナー オンライン

豊富な演習問題と解説で一気に合格に近づく、最もおすすめの検定対策です。過去合格者の半数以上が受講。e-ラーニング形式で、どこでも、何度でも視聴可能です。

資格制度

検定試験合格者の方は、「産業廃棄物適正処理管理士」の資格にご登録いただけます。



- ・登録は任意(別途料金 3,300 円)
- ・資格カードの提供
- ・資格更新時にアップデートセミナーあり
- ・産廃相談窓口など特典あり

- ・合格時に自動で登録(無料)
- ・資格証データの提供
- ・希望者に簡易カード提供可
(別途料金 1,650 円)

入門編 問題

ア. 廃棄物処理法上の「最終処分」に含まれるものを以下よりすべて選びなさい。

1. 収集運搬
2. 積替保管
3. 埋立
4. 残さが有価物となる中間処理

解答

検定 問題

イ. 次の図のような産業廃棄物の処理委託を行う場合、排出事業者としてA・B・Cの各業者との間で結ぶべき産業廃棄物処理委託契約について、収集運搬委託契約のみが必要な場合は1、処分委託契約のみが必要な場合は2、収集運搬と処分の委託契約が必要な場合は3、直接契約が不要な場合は4を選びなさい。

なお、 $\longrightarrow$ は、収集運搬を示す。



解答

A社		B社		C社	
----	--	----	--	----	--

応用編建設系 問題

ウ. 「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）」に関して不適切なものは次のうちどれか。

1. 特定建設資材に石膏ボードは含まれない。
2. 特定建設資材に粘土瓦は含まれない。
3. 請負金額が 500 万円以上の特定建設資材を用いた建築物のリフォーム工事は対象建設工事となる。
4. 床面積の合計が 80 m²以上の特定建設資材を用いた建築物の解体工事は対象建設工事となる。

解答

応用編事業系 問題

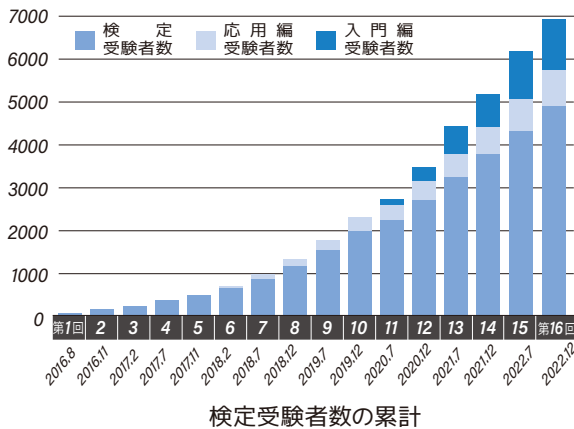
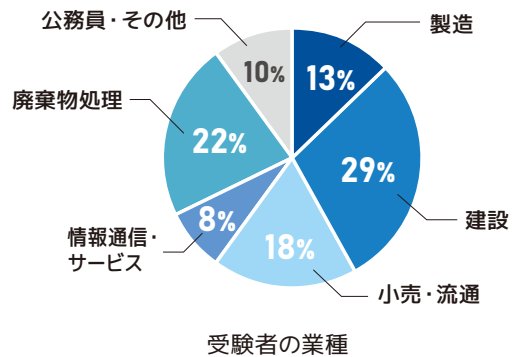
エ. 排出事業者が電子マニフェストを利用する場合に、排出事業者自らが行う必要がないものはどれか。

1. 処理業者の処理終了報告に虚偽の内容が含まれていたときの、措置内容等報告書の提出
2. 管理票交付等状況報告書の提出
3. 多量排出事業者の産業廃棄物処理計画書の提出
4. 自ら排出した産業廃棄物の収集運搬を行なうときの、運搬する産業廃棄物の種類及び数量等を記載した書面の携帯

解答



1回あたり600名以上、延べ6400名を超える方が受験

幅広い業種の排出事業者に加え、
廃棄物処理業や廃棄物管理業の担当者も

受験者の声

今後も社内で受験を継続し
個々の能力アップに繋げたい武松商事株式会社
取締役 宮澤保 様

神奈川県産業資源循環協会の会報誌でこちらの検定を知り、能力の現状を把握するとともにさらなるレベルアップを図ることで顧客の信頼を高めることができればと思い、この度社員に受験させました。

教材は難易度が高く、それぞれの力量を試すことができる点や各自のやる気をさらに引き出せる充実した内容でした。また、排出事業者向けの問題が多く、産廃業者として排出事業者への今後の対応の参考になりました。

試験問題には社会情勢等を取り入れたものもあり、忘れていたことやうろ覚えだったことも再認識でき、今回受験することで社員の力量アップが図れたと感じます。

できれば、試験後に自身の不正解箇所を復習できるシステムの構築を希望します。

今回は初めての受験で営業部所属が多数でしたが、今後は現場従事者も含め階層や経験にこだわらず受験を継続させ個々の能力アップを図り、顧客の信頼を高め会社の発展に繋げていきたいと考えております。

オンラインで「いつでもどこでも」
学習できて有意義でしたサンワコムシステムエンジニアリング株式会社
本社 安全品質管理本部 ISO事務局 課長 菅沼誠 様

現在、会社のISO事務局を担当しております。

本検定は、各部署からの産業廃棄物の適正管理についての問い合わせに柔軟に対応処理ができるようにと、同部署内の合格者の勧めで知りました。

現在、社内で担当している環境マネジメントシステムを管理・運営をする上で、自らの産業廃棄物の適正管理知識を習得したく、受験を決意いたしました。受験対策は、新型コロナウイルスの影響もあり、Web上でのオンラインセミナーでしたが、逆にとても効果的で、自宅、会社、出張先どこでも反復して苦手な項目を自由に学習できたことはとても有意義でした。

また、教材に沿った講師の子安伸幸先生の説明もとてもわかりやすい内容でわかり易かったです。

今回実際に受験をしてみて、法人・個人問わず、産業廃棄物の適正処理の大事さを痛感しました。

本検定で習得した知識は、社内で産廃研修を実施するなどして共有し、社員全体の知識向上を図れるよう指導できる立場として活躍できたらと考えております。

自分の業務に活かせる資格を
探していました製薬会社
管理庶務グループ 浜津哲也 様

通常業務の中に建物管理業務があり、今後活かせる資格をネットで検索していたところ、この資格を見つけ興味を持ちました。今回は自身のスキルアップの為、受験いたしました。

公式テキストのほかに過去問題集を別途購入しましたが、とても分かり易かったです。

業務で実際に活かしていくのは今後になりますが、知識としてのスキルアップになったことはとても良かったと思っています。今回の受験で勉強した知識を日頃の業務に活かし、他の社員に還元していきたいです。

コロナに関する件など
最新の事例もあり実務者向け住友林業ホームテック株式会社
総務部 迫口愛 様

ユニバース様より年2回、産廃条例調査サービスをご提供いただいている関係で以前より本検定の存在は知っており、この度ISO14001の内部環境監査を行うにあたり自らの力量として産廃管理の基本知識が必要と思い受験いたしました。

総務部では建築産廃を扱うことはありませんが、事業系廃棄物の取扱い管理部門としての基礎知識を得たかったことが今回の大きな目的です。

公式テキストは、検定試験のためだけに限らず参考書としても使える充実した内容でした。

検定では、コロナに関する件など最新の事例も出題されており、実務に沿った内容だと思いました。

廃棄物の取り扱い、重大な法令違反につながりかねないので、今回の受験により、自らの業務との関連を見直すことができました。

今後は実際に現場に出ない管理系部門の社員にも、産廃は身近なものとして認識してもらうため、受験を薦めていきたいです。



日 時	2023年7月9日(日) 検定試験 13:30 開始 / 応用編 16:00 開始		
会 場	札幌 / 仙台 / 東京 / 名古屋 / 大阪 / 岡山 / 福岡		
申 込 期 間	2023年2月1日(水) ~ 2023年6月8日(木)		
料 金	受験区分	試験時間	受験料
	検定試験のみ	90分	9,350円(税込)
	検定試験 + 応用編 建設系コース	90分 + 90分	16,500円(税込)
	検定試験 + 応用編 事業系コース		
	応用編 建設系コースのみ※	90分	9,350円(税込)
応用編 事業系コースのみ※			
※すでに検定試験に合格した方のみ検定試験応用編のみの受験が可能です。 なお、応用編建設系コースと事業系コースを同時に受験することはできません。 ※5名様以上での同時受験の場合、団体割引が適用可能です。詳細は当機構までお問い合わせください。			
合格基準等	●得点率 70% 以上 ●合格率 検定 56% 応用編 27% (第16回までの累計)		
解 答 方 式	マークシート(一部記述を含む)		
受験の流れ			
お申込み 2023年 6月8日(木)締切 請求書送付 ご入金 テキスト等 郵送 受験票郵送 2023年 6月26日(月)頃予定※ 検定試験 2023年 7月9日(日) 合格発表・合格証郵送 2023年8月上旬頃郵送			
※ 検定試験 1 週間前の時点で受験票が届いていない場合、当機構までお問い合わせください。			

入門編 受験要項



形 式	e-ラーニング + テスト	
受 験 料	9,350円(税込) (ハンドブックを含む)	※5名様以上での同時受験の場合、団体割引が適用可能です。 詳細は当機構までお問い合わせください。
申込期間	2023年 3月 1日(水) ~ [受講開始 2023年 4月 3日(月) ~]	
試験時間	学習講座 3時間程度 + 受験時間 30分程度	
受講・ 受験期間	ID発行から 1か月以内	
テキスト	産廃がわかるハンドブック	
資 格 証	合格後「産業廃棄物適正処理管理士 3級資格証」データをメールにて送付	

申込方法



検定試験・書籍類・各種セミナー・通信教育は、
当機構webサイトの「お申し込みフォーム」より
お申し込みいただけます。

<https://www.cersi.jp/contact/>

